

古文書から「湯の浜温泉」の由来を知る等々（追記）

第64回（昭和32年3月卒業）渡 部 功

2018年8月6日付けの表記投稿文にて「湯の浜温泉」が生まれた伝説について、古文書により紹介したところですが、この古文書に出てくる「湯の浜の大亀」についてのアニメーションが完成しました。

2021年12月22日付け荘内日報記事によると、一般社団法人日本昔話協会と日本財団「海と日本プロジェクト」が、2021年度、海にまつわる民話や海が関係している民話を伝承している山形県鶴岡市（「湯の浜の大亀」）、福島県いわき市（「いわきの鮫川のサメ伝説」）、福井県美浜町（「河童の詫び証文」）、長野県小海町（「くじらの夫婦」）、滋賀県長浜市（「堀止地蔵」）、京都府宮津町（「天かけ橋」と「金樽いわし」）、鳥取県智頭町（「竜宮のはなたれ小僧さん」）、岡山県倉敷市（「児島の金浜伝説」）、徳島県小松島町（「ゼンばはん」）、愛媛県今治市（「クジラの御礼参り」）の10エリアを認定し、ここに伝承されている民話をアニメ化し、話に込められた「教訓」を分かりやすく子供たちに伝えようと制作を始めたものです。

「湯の浜の大亀」は、民放の人気番組「漫画日本昔ばなし」の制作を担当した沼田心之介監督が今年の夏に現地を訪ね、構想を練り上げました。

20日に鶴岡市役所で関係者にお披露目すると同時に25日には「鶴岡まちなかキネマ」で無料上映されるとのことです。

なお、アニメ化される全国の民話は、来年3月下旬マデニすべて完成するそうです。